

自己推薦書の学修計画サンプル

3 本プログラムでの学修計画について

2 適性アピール の3) 本プログラムでどのようなことを学びたいかについて、本プログラムや各学部のホームページなどを参考に、具体的な学修計画を日本語や英語で、以下の枠内に収まるように記入してください。図や表などを使ってもかまいません。

※参考ホームページ

「本プログラム」 https://discovery.okayama-u.ac.jp/en/about_discovery/courses/

「各学部」 <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/faculty/index.html>

「サンプル」 https://discovery.okayama-u.ac.jp/jp/admissions/discovery_application/

※ページ数は変更できません。文字数の制限はありませんが、フォントは10.5pt以上を使ってください。

日本生まれで日本語しか話せないにも関わらず外国籍というだけで、高校が受験を拒否したり、奨学金やアパート、就職の応募を断られたり、結婚を反対された人たちやの話を数多く見聞きしてきた。そんな状況を改善するのに Ethnic Studies は有効であることを GDP の在校生からも聞いた。その分野の研究や実践が進んでいるアメリカへの留学を目標にしてきたが、SDGs に力を入れている GDP では「複合差別」や移民関連の科目もあり卒業研究もできると知り受験した。DCUL の 225 Global Sociology, 320 Sociology of Migration I, 325 Sociology of Migration II, 440 Gender and Comparative Politics, 439 Anthropology of the Self” に関心があるので、Japan and Beyond Module の下記の履修スケジュールを中心に履修プランを固めていく。

1. 2022 年度. 1,2 学期: 211 Feminist Ethnic Studies, 3,4 学期: 312 Film and Literature
 2. 2023 年度. 1. 2 学期: 3XX Topics in Japan and Beyond I と 433 Colonialism and War, 3,4 学期: 216 Korean Diaspora と 413 Sex Work and Emotional Labor
 3. 2024 年度. 1, 2 学期: 310 Cultural Anthropology, 3. 4 学期: 410 Topics in Japan and Beyond II. 通年で Professor Chung's Research Seminar
 4. 2025 年度. 通年で Professor Chung's Research Seminar を受講と Senior Project
- 加えて、イギリスの大学院で社会学の博士号を取得された Dr. Yuuka Wickstrum により, racism や ethnicity, 複合差別に関する教養科目が日本語で提供されるので1年生の3-4 学期に受講したい。

留学先で日本のことを尋ねられて日本についてよく知らなかったという体験談をいくつも読んだので, 240 Introduction to Political Science, 241 Introduction to Japanese Politics, 344 Japanese Politics, 442 Gender and Japanese Politics も受講したい。

私はまだ英検準一級しか持っていないので, 入学直後に 211 Feminist Ethnic Studies を受講できるよう 2022 年3月の TOEFL iBT 受験を目指してこの入試の後も半年猛勉強するつもりだ。1, 2 年生では Discovery の教養科目や Academic English, 上級英語なども受講し Academic Writing を磨き, 2 年生か3 年生でトビタテの奨学金を得て母国ではあるが住んだことがない韓国の名門大学成均館 (ソンギュンガン) に留学するのが夢だ。TOEFL iBT で 100 点を取得できた段階で, 母国語なのに学ぶ機会が無かった韓国語も受講したい。

グローバル化に必須にも関わらず, なおざりにされてきた多様な人材を生かす取り組みも始めたい。学外からでも誰でも閲覧が可能なオンラインシラバスや, 入学前後のオリエンテーションでしっかり学び, カリキュラムハンドブックも読み込んだ上でカリキュラムプランナーを作成する。AA へのご挨拶も兼ねて英語でメールを送り指導も仰ぐ。ホームページやオープンキャンパス, 在学生などから得た情報を元に作成したこの学修計画も入学後加筆修正し, 大学での学びを複合差別撲滅に生かしたい。